

「MCI スクリーニング検査プラス」報告書変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご愛顧を賜り厚く
お礼申し上げます。

この度、「MCI スクリーニング検査プラス」におきまして、委託先より検査報告書の一部変更を
実施する旨の連絡がございましたので、下記にご案内いたします。

なお、本変更は文言変更を中心としたもので、結果判定方法や解釈に関する変更はございません。
何卒ご了承の程宜しくお願い申し上げます。

謹白

記

■変更日 2025年4月1日発行分より

■主な変更点

以下のとおり、結果情報および提供情報のレイアウト・デザインを変更し、より受検者に理解いた
だきやすい報告書様式へリニューアルさせていただきます。

変更箇所の詳細は裏面をご参照下さい。

① P2：検査結果の配置・デザイン変更

受検者の総合評価、MCI リスク値、個別の4カテゴリに関するリスクレベルを同一枠内に
収め、自身の結果情報を一目で認識できるようレイアウトを変更しました。また、評価と
数値部分をより識別しやすくするため表記を赤字に変更いたします。

② P2：受検者向けサイト「My MCI プラス」の紹介

受検者向けの情報サイト (<https://mci-plus.com/mymciplus-lp/>) の案内を下段に掲載いたし
ます。サイト内ではより詳しい検査内容の解説や認知症の予防のためのヒントなどもご紹介
しております。

③ P4：検査後の行動変容に関する情報の配置変更

検査後の行動変容を促すために文言を変更いたしました。また、次回検査の目安日に関する
記述を結果ページ下段より最終ページに変更いたしました。

新報告書のPDFは、右記2次元コードあるいは

以下URLからもご覧いただけます。

<https://www.premedica.co.jp/wp-content/uploads/2025/01/mcis.pdf>



裏面もご確認下さい

ご不明な点等ございましたら貴院担当もしくは弊社お客様窓口までお申し付け下さい。

テスト ハナコ 様 MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

総合評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

▼今回 ▼前回 ▼前々回

B評価

MCIのリスクは低めです。健康的な生活を継続的に習慣づけることでMCIのリスクを減らすことができます。

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を継続的に習慣づけることで、MCIのリスクを減らすことができます。予防は早く取り組みはじめるのが大切です。
C	1.01~1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な生活を送ることが大切です。 【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来的なMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」をご覧ください。そのほか、医師の診察を受けることも大切です。

※高齢の方は一般的な認知症以上の方を指します。
※本検査は予防のための検査であり、MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。

本検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関するタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けてリスクレベルを表しています。

4つのカテゴリーにおけるあなたのリスクレベル

良好	注意	要注意	栄養価	脂質代謝	炎症・免疫	認知機能
0.0 ~3.2	3.3 ~6.6	6.7 ~10.0	3.2	2.8	5.0	1.6

イメージイラスト「9-2024-04」

検査を終えて

MCIや認知症の予防は生活習慣の見直しも大切だとされています。同封の「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」を参考に予防に取り組みましょう。

次回は2024年の1月頃を目安に検査を受けましょう。

MCIスクリーニング検査プラス 結果報告書

テスト ハナコ 様の評価

総合評価

あなたのMCIリスク値 **0.88**

▼今回 ▼前回 ▼前々回

B評価

MCIのリスクは低めです。健康的な生活を継続的に習慣づけることでMCIのリスクを減らすことができます。

テスト 様の4つのカテゴリーにおけるリスクレベル

当検査ではアルツハイマー型認知症の発症に関するタンパク質の量を測定することでMCIのリスクを判定しています。またそのタンパク質を4つのカテゴリーに分けて0.0~10.0でリスクレベルを表しています。

良好	注意	要注意	栄養価	脂質代謝	炎症・免疫	認知機能
0.0 ~3.2	3.3 ~6.6	6.7 ~10.0	2.2	3.0	1.9	1.3

総合評価の説明

評価	リスク値	説明
A	0.00~0.50	現在の生活習慣を継続し、健康的な日常生活を心がけましょう。ご自身の状態を定期的に把握して予防に努めましょう。
B	0.51~1.00	健康的な生活を継続的に習慣づけることで、MCIのリスクを減らすことができます。予防は早く取り組みはじめるのが大切です。
C	1.01~1.50	【中年期の方】現在の生活習慣を見直すきっかけと捉え、予防に取り組み、健康的な生活を送るよう心がけましょう。 【高齢の方】生活習慣を見直し、予防に取り組みましょう。「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」をご覧ください。
D	1.51~2.00	【中年期の方】このままの生活習慣が続くと将来的なMCIのリスクが高まります。日常生活を見直し、予防に取り組みましょう。 【高齢の方】生活習慣改善のために「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」をご覧ください。そのほか、医師の診察を受けることも大切です。

※高齢の方は一般的な認知症以上の方を指します。
※本検査は予防のための検査であり、MCIであるかどうかの診断結果を示すものではありません。

~WEB会員サービス「My MCIプラス」が始まりました~

もっと詳しく検査結果がわかります

- 測定しているタンパク質の値がわかります
- あなたの結果にあわせて予防法がわかります
- あなたと同世代の検査結果を比べられます

詳細は検査結果添付用紙「認知症予防マニュアル」の14~15頁をご覧ください <https://mci-plus.com/mymciplus-tp>

※このサービスは、スマートフォンもしくはPCで検査結果をより分かりやすく解説するサービスです
※サービスは無料ですが、通信料は別途発生いたしますのでご了承ください

MCI（軽度認知障害）について

◆ 健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI（軽度認知障害）。認知症予備軍といわれ、そのまま経過すると約5年でその半数が認知症に移行してしまうといわれています。

◆ アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から主な原因の一つといわれているアミロイドβが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下していきます。

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は一度発症してしまうと治療にすることが難しいといわれています。ですが、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり防いだりすることができると最近の研究でわかってきています。健康な方でも高齢になるとMCIや認知症のリスクは高まります。検査結果が気になる方は、生活習慣を見直し予防に取り組みましょう。

MCI・認知症を予防する

運動をする バランスの良い食事 ぐっすり眠る

生活習慣の改善がMCI・認知症予防に有効です。

認知症予防に取り組むための別冊資料「認知症予防マニュアル」や「認知症予防サイト」(https://ninichishoyobo.com/)をご覧ください

健康診断とおなじように定期的に検査を受けることで自身の変化に早い段階で気づきましょう。

＜注意事項＞

- 本検査はアルツハイマー型認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）のリスクを統計的に調べるものです。早期に発見するためのスクリーニング検査であり、MCIがあるかどうかの診断結果を示すものではありません。
- 認知症の発症のリスクは増加です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる病態による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓病の方、先天性免疫異常の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。

MCI（軽度認知障害）について

◆ 健常の状態から認知症を発症するまでの間の段階であるMCI（軽度認知障害）。認知症予備軍といわれ、そのまま経過すると約5年でその半数が認知症に移行してしまうといわれています。

◆ アルツハイマー型認知症は、発症する20年以上前から主な原因の一つといわれているアミロイドβが脳内に溜まりはじめ、認知機能が少しずつ低下していきます。

生活習慣の改善が認知症予防に有効

運動をする バランスの良い食事 ぐっすり眠る 趣味を楽しむ

検査結果は予防のヒントです

アルツハイマー型認知症は、一度発症してしまうと治療にすることが難しいといわれています。しかし、MCIの段階で適切な予防を行うと、発症を遅らせたり防いだりすることができると最近の研究でわかってきています。MCIスクリーニング検査プラスを2回以上受けた方の52%の方は数値が改善しておりますので、今回確認できたリスクを、予防のきっかけとしてとらえましょう。

※2024年6月時点でご覧になっている方の集計より

次回検査受診の目安

MCIスクリーニング検査プラスは、多くの方に継続して受けていただいています。生活習慣や加齢により数値が変化しますので、年に1回の受診をおすすめします。

次回は2025年の8月頃を目安に検査を受けましょう。

＜注意事項＞

- 本検査はアルツハイマー型認知症の前段階であるMCI（軽度認知障害）のリスクを統計的に調べるものです。早期に発見するためのスクリーニング検査であり、MCIがあるかどうかの診断結果を示すものではありません。
- 認知症の発症のリスクは増加です。20~30歳代の検査結果についてはMCIには異なる病態による影響を考慮した評価が必要です。
- 本検査は自己免疫性疾患をお持ちの方、急性炎症が認められる方、肝臓病の方、先天性免疫異常の方は、検査結果の判定に影響する可能性があります。